

カテイラン

名刺の出し方

他家を訪問する時には、名刺を持参する方が禮を厚くする上に、また間違のおこらぬために必要なことでは取り次ぎ人の誤がおこつたりまた不在の時に、訪

常磐文藝

桃色のけむり

背の夢生

しつとりと曇つてゐる  
しかし薄明るい三月の夜の  
雨降る空に桃色にふつくり  
と流るゝ湯屋の煙突のけむ

それは  
處女の張り切つた肉体の様  
だ。

細い雨降る中に溶けるが如  
く消え失するその悲しさよ  
私は獨りして溶け行くあの  
桃色のけむりを嗅ふとあた  
つた。

雜詠集

平澤雪哉

- 鷺や遠き山家の日曜哉
- 黄鳥ものごかな春の思ひ哉
- 馬の尻打つ鞭もなし山櫻
- 松鳥も臆さなりし柑の影
- 戀もある彌生の梅の月夜哉

秀優群拔  
千代田火ノシ！こ  
富貴コテ！は

半町五丁目

和洋銅鐵  
金物問屋  
釜屋商店

電話 一三九番

大勉強販賣  
合資會社  
石土商會  
中山岩其他各種  
石造土木請負業  
春季大特賣(均一制度)

郷土社  
原稿紙大廉賣  
四百字詰 百枚 三十錢  
五百字詰 百枚 二十錢

問の意味が通じなかつたりして、お互に不都合なことが起りますから、初めての家や、吉凶事のやうな訪問また儀式の時は必ず名刺が必要で、他方を訪問の時若し主人の不在の場合は名刺の上、また肩に訪問の用件、たとへば賀正、其外用向を記して取りつぎの人に

渡してもよい。亦西洋では名刺の先を折り曲げてその意味を表はす事が有ります。が日本でも一時流行しました。亦良人の代理として行く時は良人の名刺を持参します。主人及婦人を訪問する時は二枚の名刺を差し出します。人に始めて逢つた時もし人から名刺を受けたら自分の名刺を出します。

愛讀者諸君へ

一、愛讀者諸君！本社は諸君の御援助に依つて月を重ね、日を數ふる毎に一層實際味を加へて参りました。一、是れは御力の奮つて常に健闘絶え間なき一社一人主義の私に御同情の結果と厚く感謝致します。一、其處で本社は左の方法に依り御愛顧に報ゆる微意を表します。  
一、諸君の御家庭に本年から小學校に入學なすつた坊ちゃんや娘ちゃんを御座いましたら、お祝ひの爲め本月の本紙を無代で差上げます。  
一、ごうぞ御遠慮なく本月末の集金に際し配達係りにお聞せを願ひます。

靴と運動具が

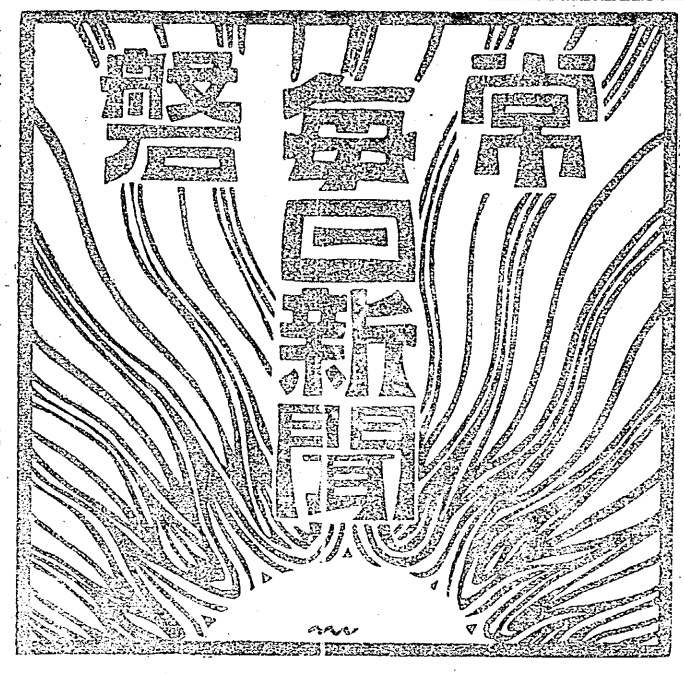


強勉大の前空  
と云ふ事は豊富な品を  
御一覽下さればわかります  
平白銀町  
大塚支店  
徒弟數名入用

東新株 先限  
前場後場共入電致居候  
平町田町 電話三三三番  
丸登株式店  
川添房二郎

株買中値

Table with exchange rates for various banks and locations. Columns include bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and exchange rates (e.g., 五〇〇, 五七〇).



刊夕日四月四

顛倒

中山雅司

和歌の徳は眼に見えぬ鬼神を泣かせ天地を動かす言ふがまた此眼に見ざる事とて信を置くに足らざるも昨夏の大地震は地上に於ける物体を正に顛倒せしめ幾十億の富と幾十萬の生靈は空しく奪ひ去られ心氣は喪失し狼狽の極五臟六腑をも亦顛倒せしめたり

敢て珍らしからず殆ど毎日の出来事となれり、古人の喧しき師弟の禮は地を掃ひて講師教員は生徒のため常に喧嘩腰に容められ、人倫の最も嚴格なりし親子の間また新舊の衝突に遠慮なく顛倒し兄弟姉妹の如きは長幼の順序顛倒更に甚だしく兄や姉を蹴飛ばす位は朝飯前となり、わけて夫婦の顛倒に至りては所謂唇に敷かれ辛抱する位の優しい事では濟まず十中の七八良人は妻の家來にして常に腫物に觸るが如く戦々兢兢として只これ命に従ひ日夜奉公大事と御機嫌を伺ふ、臺所に追ひ使ふ下男下女さへ主人

に小言の權利なくして倒まに機嫌を取らざればさつきと手荷物や片付けて出て行く世の中となれり。石が流れて木の葉が沈むと云ふは古き顛倒の諺なれど七十の禿頭を光らした老爺が孫のやうな美人を携へて浮かれ、白髮染の半襟が手當り次第に男の不自由なきに關わらず青春の處女に失戀の多き實例亦珍らしからずべくと頭を下げる事の低い奴が段々と高く出世して、思想の高尙にして首骨の硬い人間が次第に社會の地位を滑り落つるが如きは最も慨歎すべき今日の冠履顛倒なり。

### 氣を揉まされた 政派の 今夕迄に決定か 候補者 大勢は星製薬王

選挙期日は切迫する比佐派は既に遊説班迄組織して鳴物入りの運動を開始する愈々足もどから鳥の飛びたつ思ひに夜もラチ／＼寝むれなくなつた石城政派では、連日連夜 鳩首協議を重ね候補適任者のお鉢を持ち廻る事となつたが愈々形勢は製薬王星一氏に傾いて来たものの如く安島重三郎氏や其他は昨日から大村屋旅館に泊りがけで擁立熱を煽つて居るから

**結局其處** に落ちつくらしい模様も仄見える二三の新聞には運動費は自腹を斬らぬ事選挙區へ顔出しせ

### 親しまれた佐瀬氏 後任郡長は八日に來任 平館に歡送迎會

本縣農商課長の椅子を占むべく傳へられ理事官に榮進した石城郡長佐瀬剛氏は赴任以來五年十月に及び其間郡民より慈父の如く親しまれ郡治上に残した偉大な貢獻の跡は枚擧の遑ない程である爲め後任郡長前信夫郡長水野虎三郎氏が八日午後三時廿七分平郡線にて來任すべきを機とし十日平館に於て官民合同發起の盛大な歡送迎會を開催する筈因に佐瀬氏は十一日午後九時五十分平驛發平郡線にて赴任の途に着く由

### 春蠶の減少か 糸價低落の爲 人氣が沈滞し

糸價低落の爲め地方農村の人氣を沈滞せしめ今年の春蠶掃立は幾分減少を來すだらうと觀測されて居るが石城郡下に於ける養蠶家は何れも肥料代の支拂其他に困難を來すことを憂慮し掃立

減少を圖らうとして居るので郡當局では是等の不安を一掃する方針で近く注意書を配附する由

### 殺傷事件は 石城に多い 炭礦の關係で

本縣内の昨年の殺人傷害事件はいつた血なまぐさい事件は四百六十三件で本年に入つてから既に七十餘件に達し

### 麥作に追肥が必要 肥料分解作用妨げられ 發育稍遅れ氣味

本年の麥作は肥料の配給が昨年の震災で不十分であつたのと價格安から一般に人氣が停滞し随つて手入も怠り勝ちになるといふ豫想から悲觀説が唱へられて居り又實際に於ても温度が低く且降雨が少かつたので肥料の分解作用が幾分妨げられ發育も稍遅れ氣味であつたが上張りにはぶいが分蘖は相當に良く殊に根張りが強く幸ひ風害がなかつたので先頃の降雨と此一雨日來の

### 白熱化 不署取調進行 賭博狩

暖氣で急速に甦つた模様で肥料不足から勢ひ裏こけの麥が出来るかも知れないが今に於て相當追肥を行ひば普通作程度には行くであらうと見られる

### 眞面目な問題 慾性 淪落の女が 世の中の男 子を敵とし て立つ時、 其刻薄の心 情には骨を 刺すものがあるだらうと思 ふ。新聞王ノースクリッ ン の未亡人は遺言によつて 莫大な遺産を持つて古い想 思の人の所へ再婚するさう

である、しかしこれを他縣に比するといつたつて少い方である縣下では石城郡が礦山の關係上勞働者が多いために一番多い追ひ／＼春になつて人心がうはつて來る結果この種の犯罪も多くなつて來るが本縣の傷害事件を見るに使用されたものは凶器が多くその場に有合せたものであるから東京などで凶器持參者の取締などの心配は當分の中必要がない

主犯者と認むべきもの四名拉致され栗城刑事部長取調中である

### 豚コレラ發生石城郡 赤井村大字三島字中屋敷田 久彌一郎方飼養豚三頭疑似 コレラに胃され死亡したが 一般に流行の徴あるから注 意を要す

平町古鍛冶町天理教會にては昨年十月神廟建築工事竣成を告げたが帝都震災の爲め奉告祭を延期し來る八日午前十一時から奉告祭を執行する事となつた

### 天理教會式 竣成奉告を

不平受付  
投書募集  
土橋が破壊 平町田町役場前から城山下踏切へ行く道路の土橋が本年一月頃から陥ちた儘になつて居るが何時頃修繕されるか馬車屋が困ると泣いて居るから一日も早く修繕して貰ひ度い

### 不平受付 投書募集

伏見助役の答 今日工事の入札済みになりまして修繕が出来上ります

### 稅主任會議 諸般の協議

石城郡町村稅務主任會議は四日午前十時から郡議事堂にて開會左記事項を附議した由

### 配達係慰安 一日の行樂

春陽麗かに郊外散策の季節となつた本社は昨日配達係慰安の爲め小島山に一日の行樂を試みノノヒル、ミツバ、モチグサ、フキノト等をつむやら相撲をとるやら眞に愉悅の限りを盡くした

### 平町人事

- ▲出生  
▲材木町 當時仙台市東一番町難波 軍治氏二男正
- ▲大工町 白井祐次氏四男三郎
- ▲鷹原町 曾我新太郎氏次男浩
- ▲死亡  
▲研町 遠藤字子(三)
- ▲鐵道官舎 宇部政男(三)
- ▲田町 佐藤周三(三)
- ▲胡原澤 吉田國男(三)
- ▲大工町 酒井谷治郎(五)

ヤキ印に關する件、徵稅令書發布の件、營業申告書進達に關する件、地租額及戸數報告に關する件、令書額に對する増減額報告に關する件、徵稅金拂込に關する件

にて金時計一個△同町宇古鍛冶町丹野安照氏は同町にて現金八十三圓卅一錢在中の黒革製褌口△同町五丁目大島ミトリ子は二日同町にて十圓在中の財布を拾得夫々平署に届出つ

### 常磐片々

政派の候補もごうやら梟がつきそう

憲派は振り上げた拳固のやう場に困つてイササカ土俵ぬけの体

而し政派の候補決定となれば氣のぬけた拳固も役に立つと云ふもの

### 良校長謝恩 齋藤傳藏氏に

今の内には精々拳固に息を掛けて置く

星氏出馬説愈々勢力を占む

石城郡内郷村第二小學校長齋藤傳藏氏は今回家事都合に依つて退職したが同校に赴任以來十六ヶ年に及び其間子弟の教養に鋭意力を盡した爲め卒業生や村内有志が紀念品を贈らんと募集中